



ミス・日本みどりの女神がCOP13で発表

任意団体 「生物多様性と子どもの森」キャンペーン実行委員会

全国・世界での生物多様性の 主流化に向けた 先導モデル創出・推進体制構築事業

一般助成

3年目

知識の提供・普及啓発

教材の作成

2種

リレー
キャンペーン

35カ所

活動の全体目標に
対する達成度

85%

課題

生物多様性の正しい理解による、三つの「多様性」の保全と四つの「生態系サービス」の持続可能な利用に向けて、具体的な行動を喚起していく仕組みを構築する。

目標

これまで開発してきた環境教育導入教材「1本の木の物語」2種を追加し、全体を改良する。併せて、国内外で情報発信しグリーンウェイブの活動を推進するサポート体制を構築し、生物多様性の主流化の実現に資する。

活動内容

2種追加の「1本の木の物語4」を作成印刷及びイラストを加えた「1本の木の物語」22種と50種の樹木と親しめる物語集を作成し指導体制を全国10箇所において整備。グリーンウェイブの推進体制を18地区で確立し、キックオフフォーラムにおいて多様な団体が参画した全国的な推進体制を確認した。全国的な行事5回で出展し発信。日本と東南アジア等の情報プラットフォームを構築拡充し、活動についてCOP13で発信した。



モ一娘。とそのファンに
生物多様性を説明

達成できなかったこと

地域での発展的取組モデルの構築及び都道府県レベルのサポート体制の確立について、構築した体制が機能し、アウトカム数値になるほどの地域の反応や要請が少なかった。

今後の展望

「1本の木の物語」の一般書籍化への取組及び企業・NPOと学校・地域をつなぐ企画の全国展開。

成果と工夫した ポイント



成果

「1本の木の物語」に22種の学習マンガと50種の物語を追加し、校庭の樹木調べに活用され好評を得ている。2月開催のキックオフフォーラムの会場でミス・日本みどりの女神がグリーンウェイブ大使に任命された。

工夫

教材改良について子どもの視点を考慮し22種の樹木の「生態系サービス」についての学習マンガを作成した。